

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設当時の理念のままで、見直しが行われていない。職員全員で話し合い、地域密着型の意義を踏まえ、理念(目標)を作成する。職員全員での話し合いを行い、利用者様生き甲斐に繋がる理念(目標)を決定する。	穏やかで楽しい生活を送って頂くために、さんあいの職員は笑顔の声掛けを実践し、利用者様との笑顔の会話の日常化に努めます。	朝の挨拶は利用者様おひとり、おひとりが声を出して挨拶をしていただくように促しながら行う。声掛けに加え、応えやすい問いかけを行い、生きがいや楽しみにつながる会話に努める。介護職はお一人に一日一回以上の笑顔の会話を実践する。	3ヶ月
2	1	地域密着型の意義を理念に反映していない。地域との関わり方を検討しなおす。	さんあいは事業所としての地域との関わりに加え、地域の方々に協力をお願いし、利用者様が個人としての関りを持つ機会を作ります。	地域の行事への参加だけでなく、年に4回ほどのさんあい主催の茶話会を計画し、近隣住民の方々に参加を呼び掛けるとともに、さんあい便りを発行する。	12ヶ月
3	13	火災等の災害を想定してのマニュアル作成が不十分である。火災、地震、風水害に備えての昼夜別のマニュアルを作成する。	緊急時の体制の確立と迅速な避難誘導のために、毎月1回に避難訓練行事を計画し実行します。	災害別のマニュアルを作成する。避難経路図を作成して掲示する。年間の避難訓練計画の作成。	12ヶ月
4	13	近隣住民の参加協力体制が確立されておらず、また避難場所の確保が明確でないので、覚書等の書類を用意して明確にする。	近隣住民の参加協力体制を確立し、利用者様の安全を第一に考え、災害時の避難について職員、利用者様、家族の意見を伺い、検討してマニュアル化をします。	さんあいにおける避難時の想定される状況や公的避難所の現状の把握など、情報を集め検討する。家族会へのアンケート等を実施する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。